



北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月19日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <https://www.kitamirc.jp>

2025~2026年度国際ロータリーテーマ

第3538回例会・2026年2月4日

本日のプログラム

ゲスト卓話 「北見YEGについて」

北見商工会議所青年部 会長 堀江 雄介 様

**UNITE
FOR
GOOD**

R. I. 会長 フランチェスコ・アレツツォ

第3537回例会（1月28日）の記録

ロータリーソング 四つのテスト**ゲスト** 公益社団法人北見青年会議所 理事長 船橋 悠太 様
公益社団法人北見青年会議所 専務理事 夏川 卓也 様**会長挨拶** 小林会長

皆さん、こんにちは。1月25日(日)に国際ロータリー2500地区会員増強維持セミナーのZOOM会議に参加いたしました。高崎ロータリークラブの田中久夫様、パストガバナーの鶴見誠一郎様にご講演いただきました。その中から、本日は会員増強についてお話させていただきます。ロータリーの環境は昔に比べると変化しており、仕事のスタイルや地域の在り方、人との繋がりも変わってきております。そのような状況の中で、会員増強は単に人数を増やすことなく、クラブの未来を創る活動だと感じています。ロータリーの最大の魅力は、皆さんの中ではどのようなものだと思いますか。私自身は、多様な人と出会い、学び合い、共に行動できる場所であることだと思っています。会員拡大の大切な部分は、無理に勧誘するのではなく、まずは自分自身がロータリーを楽しんでいるか、例会への参加や奉仕活動に誇りを持っているかを考え、その価値を周囲にどれだけ伝えられるかだと思います。会員増強は会員増強委員会だけの仕事ではなく、会員一人ひとりがロータリーの顔であると思っています。日常会話や仕事の中で、ロータリーの話が自然に出てくるといった積み重ねが必ずクラブの力になると思っています。皆さんと共に北見ロータリークラブの未来を創るために、会員拡大のご協力をよろしくお願いいたします。



私の次男が幼少期にピアノを習っていましたが、何かのきっかけで最近また弾くようになりました。そんな中、日本のピアノの3大メーカーを聞いたところ『YAMAHA』『KAWAI』『APOLLO』と答えが返って来まして、この3社は静岡県浜松市に集中しているということを調べました。毎日このようなコミュニケーションを取りながら親子関係を保っております。以上で会長挨拶とさせていただきます。

ニコニコBOX

岡村 会員～先週から弊社の民泊物件のクラウドファンディングがスタートしました。皆様の温かいご支援をお待ちしております。

伊谷 会員～本日よりモスでは「とまらない!! ガーリックトマトのとり竜田バーガー」が始まりました!! どうぞお楽しみ下さい。

小野田会員～北ガス市民ホールのネーミングライツ取得を記念として「北ガスグループプレゼンツ オホーツクダンスフェス」を2月15日(日)に開催します。北見地区を中心に13団体に出演いただきます。出演料・入場料はすべて無料として、募金箱を設置しますのでチャリティへのご協力をお願いいたします。集まったお金は社会福祉協議会を通じて北見市の子ども支援事業に提供させていただきます。出演者数は現在確認中ですが500名程度になるのではないかと思います。北見RC会員の皆さんのお子さん・お孫さん・甥っ子・姪っ子等々身近にも出演される方がいるのではないのでしょうか?当日は是非、会場へお越しください。

プログラム

ゲスト卓話 「公益社団法人北見青年会議所のこれから」

公益社団法人北見青年会議所 理事長 船橋 悠太 様



皆様、こんにちは。小林会長をはじめ北見ロータリークラブの皆様におかれましては、日頃より北見青年会議所に多大なるご尽力をいただいていることを感謝申し上げます。ただいまご紹介いただきました、第69代理事長の船橋悠太です。どうぞよろしくお願い申し上げます。本日は、自己紹介と北見JCの活動についてお話させていただければと思います。

私は平成元年生まれで、藤幼稚園、南小、南中、北斗高、札幌の北星学園大学と進み、大学の時にはカナダのウィスラーに1年間留学をしていました。2年遅れで卒業した後、月島機械株式会社に入社し、東京で1年間修行させてもらいました。そこでは大学時代に培った飲みニケーションで社内の色々な方との交流を深め、今も連絡を取り合って北見に来てくれたり、仕事上でお付き合いしている方もいます。この東京での1年間と、その後の札幌での4年間で得たものは非常に大きかったです。2019年に船橋西川建設に入社し、昨年副社長となりました。前職で見ていた世界や会社のシステムをイメージしていたので、北見に戻ってきて愕然としました。戻ってきた当初は30代の社員が私ともう一人しかいない状況でしたが、ホームページを作ったり、新しいシステムを導入したりして、今年の4月からは高校の新卒者が入社予定です。

私のJ.Cの経歴についてもご説明させていただきます。2019年に北見に戻ってきた途端、J.Cの先輩方から沢山お誘いをいただいていた方には3年間待って欲しいと伝えましたが、あつという間に3年が過ぎ入会に至りました。2022年に入会し、坂井アカデミー委員長のもとJ.Cとは何かを学び、同期と楽しい時間を過ごさせていただきました。2023年には地域開発委員会に配属となり、北見ほんちまつりと北見ハーフマラソン大会の2つの事業を受け持つ委員会の副委員長となりました。年度の途中で委員長がいなくなってしまう、2年目の私が何も分からない中2つの事業を担当するという、思い返すと大変辛い1年でした。2024年は研修委員会の委員長という役をいただき、委員メンバーの育成とJ.Cの資質を向上させたいという思いで務めさせていただきました。この年には、北海道地区協議会のJ.Cフェスティバルで担当委員会の副委員長も務めさせていただきました。2025年は副理事長という立場となり、出向では北海道地区協議会の総務広報委員会の委員長を務めさせていただきました。この出向は、私の中で大きなものとなりました。総務系の仕事と広報の他、会長と他の地域の方々のアテンドをする渉外業務も行い、非常に学びがありました。そして2026年、今年は理事長を務めさせていただきます。

J.Cの概要ですが、年始の時点の会員数は44名となっております。50名は超えたいところですので、北見ロータリークラブの皆様方のご縁を繋いでいただき、ご紹介いただければと思います。構成としては、理事長1名、直前理事長1名、副理事長3名、専務理事1名、事務局1名、正副委員長で17名、今年はお出向者が19名となっております。今年も、アカデミー委員会、地域共創委員会、青少年育成委員会、地域未来創造委員会、総務広報委員会の5つの委員会で展開していきたいと考えております。アカデミー委員会は、例年同様初年度に配属される委員会で、ここでJ.Cを学び、仲間と大切な絆を育む1年となります。地域共創委員会は、北見ほんちまつりの企画運営を行ないます。他には、市民を巻き込んだ色々な事業も展開していただきたいと考えています。青少年育成委員会は、子ども達に向けた運動を展開する委員会です。今年は何も持たず、通年の事業として、子ども達や学連の皆さんと北見をより良くする活動をやってみようと考えています。地域未来創造委員会では、ハーフマラソン大会に代わるJ.Cらしい事業を検討します。総務広報委員会は、OB例会や新年交礼会、卒業式の開催を担当し、縁の下の力持ちとして組織を支えていただきます。2026年度は「胸に想いを、背中に誇りを。地域の未来を、共に創ろう。」を基本方針として掲げさせていただきました。J.Cという誇り、先輩達の刻んできた足跡の上に立たせていただいている誇りをしっかり持って、一緒に地域を創っていきましょう、という事です。今年のスローガンは「Stand Proud - 未来共創 -」です。歴史を紡いでいるJ.Cの一員であること、地域のことを真剣に考えて仲間と一緒に歩んでいることに誇りを持って立ちたいという事を、この言葉に込めております。未来共創に関しては、行政だけでも企業だけでもJ.Cだけでも創ることはできませんので、思いをしっかりと共有し、手を取り合って行きましょうという決意が込められております。このスローガンが、2026年度北見青年会議所が目指す姿です。

先日京都会議が開催され、全国各地から理事長はじめメンバーが集い、日本青年会議所の今年度の方針や会頭のお話を聞いて参りました。加藤会頭が所信の中で「J.C活動の中で憧れや尊敬する人に巡り合えていますか？あなたの今の姿は誰かにとって目標となる存在になっていますか？次の世代へとバトンを繋ぐことのできるJ.Cメンバーになれるよう、向上心を持ってJ.C運動を続けていただきたい」と言っておりました。目標となる存在になっているかと問われた時に、理事長として身が引き締まる思いになり、今年1年気をしっかりと張って、次の世代に繋げていきたいと思っています。そして、今年北海道地区大会の誘致に立候補させていただきました。それが通れば、2028年に第77回北海道地区大会北見大会を開催することができます。北見市の財政が苦しい中、このような挑戦をすることでしっかりと北見をアピールし、市外からの流入をより増やして、経済効果も高まればと思っておりますので、是非ともご協力いただけると幸いです。最後になりますが、本日このような貴重な場をいただき、良い経験となりました。今年度、本日もご紹介しました様々な運動を展開してまいりますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、会を代表してお願い申し上げます。本日はありがとうございました。

会員の輪

北海道で8回目、北見で3回目の冬を過ごす中、未だ慣れないのは「ペンギン歩き」。夜散歩かなければいいのに、と思いつながらも、週に何回かは「夕食」を理由に出歩きたくなる思いに抗しきれず、今夜もポケットに手をつっ込んで当たり前のように足早に歩く人を横目に見ながら、テカテカ氷の上を滑らないことを確認しながら恐る恐る「ペンギン歩き」をしています。
(竹田 貴彦)

出席報告

出席報告	例会日	会員総数	出席免除者数	出席者数	出席免除者の出席数	事前メイクアップ	事後メイクアップ	確定計算出席数	出席率
計 算 式		A	B	C	D	E	F	C+E+F	$\frac{C+E+F}{A-B+D} \times 100$
本日	1/28	64	5	39	2	5	-	44	72.131%

【次回2月18日】

「Passion Talk」

2025～2026年度 北見R.C.活動方針

「クラブに革新を 笑顔で紡ぐ奉仕の輪」
～行動しようRotarianとして～

欠席に関する規定

標準ロータリー・クラブ定款は、例会に欠席したためにロータリー会員資格が自動的に終結させられる三つの条件を規定しています。その条件とは、1) 連続して4回のクラブ例会に欠席し、そのメイクアップをしなかった場合、2) 6ヶ月毎を1期間とし、その期間の例会の60%以上出席あるいはメイクアップしなかった場合、3) 6ヶ月毎を1期間として、その期間に自分の所属するクラブの例会の少なくとも30%に出席しなかった場合です。